

岩手すすめる会 一関地区で合同街頭署名

毎年実施している一関地区的2校合同の街頭署名。全国の仲間たちの奮闘に励まされ、参加した生徒たちは寒い中で私学助成署名の意味を訴えました。このとりくみを通じて自らが私学助成について学ぶ時間になりました。

私学助成をすすめる岩手の会一関地区協議会発行

令和7年11月25日

私学助成ニュース

第16回私学助成街頭署名



令和7年11月22日(土) 11:00~13:00までの2時間、いわて生協コーポ一関コルザ前にて生徒・教員による街頭署名活動を実施しました。一関地区的私立2校合同で毎年1回実施しており、第16回目を迎えていました。一関修紅高校からは生徒5名・教員2名、一関学院高校からは生徒3名・教員1名が参加、合計11名での署名活動になりました。また、本来であれば例年1か月前に実施するところ、今年はいわて生協コーポ一関コルザさんが店舗大幅改築工事のためやむを得ずこの時期の実施となりました。

心配された当日の天候、そして気温でした。署名活動場所が北側の正面出入口なため日陰になっており風もやや強く生徒は寒さに震えながらの署名活動でしたが、快晴の天気には恵まれました。活動前の集合時に、「全国で高校生たちが街頭署名活動をしている。我々もそれに負けずに頑張っていこう!」と呼びかけました。さて、来年4月からの「授業料無償化」に向けた議論が進められている中での署名活動でしたので、市民の方々の反応も気になりました。生徒はお客様から「寒い中お疲れさま」と励ましの言葉を

いただきました。また、「授業料無償化されるよね」と言って署名をしてくれない方や、逆に署名を書いてくれた方もいたようです。この街頭署名活動に初参加の生徒や署名自体にあまり関心がなかった生徒も今回参加し、四苦八苦しながら私学助成署名とは何かをお客様に説明する行為を通じて自らが私学助成について学ぶ時間となったようです。また生徒と教員のコミュニケーションも進み、お互い有意義な機会となりました。生徒は寒い中、声を出し続けて、合計179筆を集約することができました。お疲れさまでした。

来年は「授業料無償化」された後の署名活動になります。訴える内容も変わってくると思いますが、全国の私立高校生徒・保護者・教職員等の皆さんと想いを一つにしてお互い励まし合いながら街頭署名活動を継続していかなければと思います。



私学助成署名
11月28日(金)までに集約と報告をお願いします
12・5院内集会の参加組織・議員要請は12月2日(火)までに報告を